

1月20日(日)～2月2日(土)
各10時～17時

第8回街角ギャラリー

利根川や日光街道などをテーマにした写真(栗橋地区の写真クラブの方々の作品)約30点を展示します。

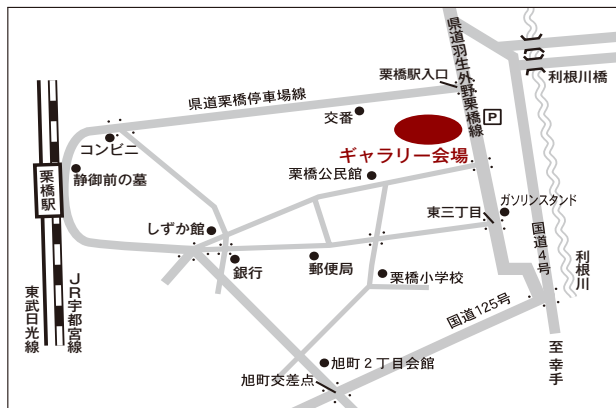
ギャラリー内では、お茶を飲みながらゆっくりと見学することができます。

場所 県道羽生外野栗橋線沿いの空き店舗(案内図参照)

※車でお越しの方は、ギャラリー向かいの専用駐車場をご利用ください。

見学料 無料

問合せ 栗橋宿ふれあい推進協議会事務局(都市計画課内 内線3685)



連載 久喜歴史だより (第15回)

菖蒲神社の絵馬

菖蒲地区にある菖蒲神社には、市の指定有形民俗文化財の絵馬6面が保存されています。

絵馬とは、祈願のために社寺に奉納した絵入りの額のことです。古代では、祈願の際、生きた馬を神の乗り物として神社へ献上していましたが、その後、馬の代わりとして、板に馬の絵を描いて奉納するようになり、これが現在の絵馬の原型となったとされています。室町時代以降には、馬絵のほかに武者絵や歌仙絵などが描かれるようになり、鑑賞画としての一面も兼ね備えるようになりました。

菖蒲神社の絵馬は、「百人一首」、「鞍馬山」、「飾馬」などが指定文化財となっています。

「百人一首」は3面一組の絵馬で、天明8年(1788)に平沢喜兵衛をはじめとする100人の伊勢太々神楽講中により奉納されたものです。この絵馬は、伊勢神宮での太々神楽の奉納を終え、故郷に無事帰還できた記念として作成されたものと考えられます。この絵馬は、3面に小倉百人一首の絵札が描かれている珍しい作品です。

「鞍馬山」は、天保9年(1838)に穀屋茂吉など16人の商人らによって奉納されたものです。絵馬には、牛若丸が描かれています。

「飾馬」は、朱色の飾りを付けた3頭の馬が描かれている絵馬です。この絵馬は、天明8年に河野某によって奉納されたものです。

皆さんの周りの神社にも、多くの絵馬が奉納されています。参詣の際には、昔の人々の願いに思いをはせながら、絵馬をご覧になってはいかがでしょうか。

問合せ 文化財保護課文化財・歴史資料係(内線4323)

※本文中の人名には、編集者が便宜上、振り仮名を付けました。



「飾馬」

久喜市の人口

12月1日現在

()内は前月比

人 □ 156,151人 (+62)
男 78,094人 (-7)
女 78,057人 (+69)
世帯数 61,535世帯(+92)

■久喜市役所(本庁舎)

〒346-8501 下早見85-3 ☎ 0480-22-1111(代表) / ☎ 0480-22-3319

■菖蒲総合支所

〒346-0192 菖蒲町新堀38 ☎ 0480-85-1111(代表) / ☎ 0480-85-1806

■栗橋総合支所

〒349-1192 間鎌251-1 ☎ 0480-53-1111(代表) / ☎ 0480-52-6027

■鷲宮総合支所

〒340-0295 鷲宮6丁目1-1 ☎ 0480-58-1111(代表) / ☎ 0480-58-2020